

11/2 矢田地区 令和4年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧 [事前提出分の再質問・自由意見等]

整理番号	意見・質問等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
1	信号機設置の条件	【要望】 警察署が定める、信号機をつける条件のリストが欲しいです。	信号機設置の条件に関するリストにつきましては、警察に確認した上で、後日、回答いたします。 【追記】 令和4年11月4日にリストをお渡ししました。	危機管理課
2	都市計画道路安城一色線の工事	【質問】 都市計画道路安城一色線の工事に伴い、自宅の前が交差点に変わるようです。今後立ち退きの可能性も考えられますので、工事の時期がいつぐらいになるのかを教えてください。	愛知県が実施する工事であり、現時点では事業化されていないため、市では詳細を確認できません。具体的な場所をご指示いただければ、愛知県に状況を問合せることができますが、詳細な設計が決まっていない以上、具体的な交差点の位置などについて、県も示すことができないと思われま。なお、10年以内に工事を実施されることはないと考えています。	土木課
3	多言語版広報にしおの電子化	【提案】 私の町内も外国の方が増えて、地域つながり課からベトナム語やポルトガル語のパンフレットをもらっていますが、日本語の広報の情報量からするとかなり不足しています。そこで、広報にしおの外国語版を電子化してはどうでしょう。外国の方はその方が親しみやすいと思います。	外国人の方への情報発信については、利用率が高いSNSの活用を心がけてきました。いろいろな取組をする中で、動画での発信が一番効果的だということになりましたので、特に重要な情報については動画により、SNSを通じて発信していきたいと考えています。 広報媒体自体をデジタル化することにつきましては、どのような情報発信の仕方が適切かということを検討してまいります。	広報広聴課
4	全戸配布のチラシ	【質問】 全戸配付のチラシを1枚ずつ挟む作業が大変ですので、広報の中に折り込んでください。	全戸配布のチラシが、町内会長の皆様にとって非常に負担が大きいことは十分承知していますので、選別の上、本当に必要なものだけを全戸配布するよう各課に通知しています。 予算が必要となりますが、広報にしおへの折り込みにできるよう、施策を練ってまいります。	地域つながり課
5	回覧板	【質問】 広報と回覧が別々に回るため、アパートや集合住宅に回覧板が回っていません。全戸配布であれば良いですが、回覧だと見ていただけないことがあるため、全て回覧になってしまうと漏れる部分が出てきます。回覧と全戸配布は、どういう区分けをしていただけますか。	回覧と全戸配布では、どちらも一長一短があるかと思っておりますので、今後いろいろと検討してまいります。	地域つながり課
6	名鉄西尾線の複線化	【質問】 名鉄西尾線の複線化と、米津橋の鉄橋の改修工事の予定はありますか。交通の便がよくなれば、もっと西尾も活性化するのではないかと思います。	名鉄西尾線の複線化については、西尾市として決して諦めているわけではございません。複線化できれば利便性は上がりますし、今年度、商工会議所からも複線化についての要望をいただいておりますので、名鉄にしっかりと意向を伝えます。 現状としましては、いかに名鉄西尾蒲郡線の路線を残すかということが課題となっておりますが、守りだけでなく、攻めの部分に関しても、西尾市として今後も要望を届けてまいります。 米津橋の鉄橋については、市民の方からご心配の声をいただきます。古いのは事実ですが、名鉄側が定期的に検査を実施しており、現状では大規模改修や架け替えが必要な状況ではありません。 名鉄が米津駅まで路線を止めてしまうのではないかと懸念が寄せられますが、すぐにそのような事態になるとは考えていません。ただし、将来的には鉄橋をどうするかについて、名鉄と話をする時期が来ます。費用負担がどうなるか分かりませんが、鉄橋が架け替えられず電車が米津までしか走らなくなれば、西尾市が陸の孤島化し、地域が衰退することが明白ですので、絶対にそうならないよう努めてまいります。	地域つながり課

11/2 矢田地区 令和4年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧 [事前提出分の再質問・自由意見等]

整理番号	意見・質問等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
7	スマホ教室の充実	<p>【要望】</p> <p>施政方針の説明などに、LINEの活用やデジタルトランスフォーメーションという行政の手段、広報の電子化の話がありました。携帯電話やパソコンを使える人はいいのですが、高齢者などの、いわゆるデジタル弱者の方たちが本当にこのシステムに対応できるか非常に心配です。数年のうちにすべてがスマホに替わると言われており、高齢者の方が苦労すると思われます。</p> <p>最初のワクチン接種のときに高齢者の方から、LINEが使えず、電話だけで困ったという話を聞きました。市や包括支援センターのスマホ教室がありますが、それだけでは不足だと思います。もう少し講座を充実していただき、例えば出張講座や、地域の小さな組のようなところでスマホ教室を実施していただければ幸いです。</p>	<p>地域包括支援センター及びソフトバンクと連携してスマホ教室を開催していますが、地域包括支援センターの講座はすぐに満員になるようですので、出張講座なども含め前向きに検討してまいります。</p> <p>政府はマイナンバーカードの取得を推進しており、今後、マイナンバーカードに保険証や運転免許証の機能が含まれたり、スマートフォンにマイナンバーカードの機能が搭載される時機が来ると思います。市として行政手続を全て電子化し、窓口での手続を全部廃止することは考えていません。デジタルが苦手な方々が一定数いらっしゃる限りは、これまでどおりの手続き方法を残していく必要があると考えています。</p>	情報政策課
8	名鉄西尾・蒲郡線の活性化	<p>【意見】</p> <p>鉄道がなくなるというのは地域の衰退だと思います。17年前の三河線のように、名鉄西尾線・蒲郡線が廃線になると大変ですが、この地区は車社会です。ミュースカイのイベントなどを実施してお客さんを作らなければいけないと思います。</p> <p>例えば、南桜井のアイシンさんのようにデンソー吉良工場の従業員の方に使っていただければ、増えてくると思いますし、少子化になってはいきますが、例えば吉良などの地区に大学を誘致してはどうかと思います。</p> <p>また、愛知こどもの国をもう少ししてこ入れしてはいかがでしょうか。</p>	<p>これまでの西尾のまちづくりは、電車の利用とあまり連動していませんでしたが、今後は連動させていく必要があると考えます。大学の誘致ができるかどうかは分かりませんが、例えば公共施設を建て替える場合、既存の施設の隣に作るのではなく、移転して電車の利用が見込める場所に作るというような発想も必要です。今後は、どうすれば電車の利用につながるのかということを念頭に置いて実施してまいります。</p> <p>愛知こどもの国は愛知県の施設であり、市からも色々な提案をしていますが、実現に至っておりません。</p> <p>11月1日オープンしたジブリパークのサテライト的な位置付けとして、愛知こどもの国を整備していただくことができれば、てこ入れできるのではないかと思いますので、最終的な判断は愛知県となりますが、西尾市から色々なアイデアを県へ提案してまいります。</p>	地域つながり課
9	マイナンバーカード	<p>【要望】</p> <p>マイナンバーカードの保険証などの連携を、2024年に実施する予定と聞いています。住民の理解を十分に得てから実行に移していただくよう国に働きかけてください。</p>	<p>マイナンバーカードは、今後いろいろなサービスなどをデジタル化していく中で、本人認証の部分で必須となるため、便利な生活を送るためには不可欠であると考えます。ただし、情報管理の部分で不安を感じている市民、国民の方々も少なくないことは承知していますので、理解を得ることなく強引に進めていくことは望ましいとは思っていません。市として、マイナンバーカードの取得を推奨してまいります。セキュリティの部分を含めてしっかりと理解していただくための説明が必要です。必要に応じて国にも意見を伝えます。</p>	市民課
10	ファイザー製ワクチン	<p>【質問】</p> <p>国会で「子どもワクチン接種等後遺症を考える会」を超党派議員で立ち上げ、先日推進派と反対派と中立と厚労省と内閣府の方たちの検討会がありました。その中で、推進派の議員が努力義務には反対という意見で、反対派の方たちは一切中止ということをおっしゃっていました。ファイザーワクチンは、厚労省が出している文書で、安全性と有効性は確立していないとされており、治験もまだ終わっていない状態です。ワクチン接種は慎重に考えて実施するべきだと思いますが、市長の考えはどのようですか。</p>	<p>国の一定の基準に従い、努力義務とされたのであれば、市はそれを受けて、市民の方々にも努力義務で接種をしていただく機会を設ける必要があります。</p> <p>ワクチン接種については、副反応や、その後のリスクも踏まえて、最終的には一人一人の判断になります。ワクチン接種を希望する方に対して、その機会を提供することが責任ある形であると考え、提供する場や接種日程を設けてまいります。ただし、社会的な同調圧力として、打たなければいけないという空気を作っていくつもりはありません。反対に、打ってはいけないという同調圧力を作ることも望ましいとは思いません。</p>	健康課

11/2 矢田地区 令和4年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧 [事前提出分の再質問・自由意見等]

整理番号	意見・質問等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
11	子どものワクチン接種	<p>【質問】</p> <p>市LINE公式アカウントに、新型コロナウイルスワクチンに関して「種類よりスピード」という広告が載っていますが、打たない形で慎重に考えた方がいいと思います。</p> <p>慎重にという判断で、名古屋市は子どもの接種券に関しては申請制に変更され、今現在101の自治体が申請制にしています。西尾市は今、郵送していますが、申請制に変更するお考えはありますか。</p>	<p>申請制にした方がいいという考え方については承知していますが、実際に申請制にした自治体と、西尾市のように郵送している自治体とで接種率を比較すると、申請制にした方が明らかに低いわけではありません。</p> <p>郵送されると、打たなければいけないと受け止めてしまうという考え方もありますが、市民の皆さんは、それに流されるのではなく、しっかりと自分や子どものことを考えながら判断されると思っていますので、現時点で申請制にするということは考えていません。</p>	健康課
12	ワクチンの副反応	<p>【意見】</p> <p>西尾市としてのワクチン接種の副反応の数などが開示されていません。接種券には、強制ではありません、保護者の方が考えてくださいという記載がありますが、副反応も判断の一つだと思いますので、開示してください。</p>	<p>ワクチン接種は市町村が行う事業であるため、自治体ごとに副反応の状況を把握していません。県のホームページまたは厚生労働省のワクチン関連のホームページをご確認の上、個人で判断していただくようお願いいたします。</p> <p>【追記】</p> <p>副反応の捉え方は個人によって相違があるため、すべて把握することはできません。尚、個人通知に副反応の出現する割合を記載していません。</p>	健康課
13	地域コミュニティ	<p>【意見】</p> <p>コストカットや費用対効果などが話題になりますが、コロナ禍において、一人暮らしの方々は隣と面識がありません。</p> <p>民生児童委員の方が全員をくまなく回るのはなかなか難しいですので、せめて広報を班長が配るといいと思います。ポストに入れるだけかもしれませんが、たまには顔を合わせるかもしれません。そうした少しホッとできるようなことを、包括支援センターの方々の意見を聞くなどして、町内会の方に考えてほしいと思います。</p>	<p>町内会組織に限らず、地域コミュニティの力が全国的に落ちてきていると感じています。自助・共助・公助という考え方があり、共同体で助け合っていきたいという考え方です。それが、これからの時代には大切であり、サラリーマンの人が増えたり、高齢化や核家族化が進み、以前と比べると隣近所についてあまり分からなくなっていますが、大きな災害などが起こった際には、行政も機能が麻痺してしまいます。当然、市としてやるべきことはやっていますが、自分たちの地域の安全安心な暮らしをどう守っていくかということも考えていただきたいと思っています。その中で、例えば、一人暮らしの高齢者の様子を把握するとかいうことが、地域の中でできることが非常に大切です。</p> <p>一方で、町内会の事務的な負担を減らす努力をしていきたいと考えていますが、そのことが地域の状況の把握にとってマイナスにならないようにしてまいります。</p>	地域つながり課
14	新型コロナウイルスワクチン	<p>【質問】</p> <p>ワクチン接種にかかる費用は、これまで幾らかかりましたか。また、今計画している10月から12月の接種でどれくらいの費用をかけて接種の機会を設けますか。</p> <p>ワクチンの準備数と接種数と廃棄数を教えてください。</p> <p>約半数の人がワクチンを打たないという選択をしているのに対して、市としてどれくらいの費用を使っているのか、明らかにし、公表してください。</p>	<p>ワクチンの経費は予算計上しておりますので、予算書もしくは令和3年度につきまして決算書で確認できます。</p> <p>今後のワクチンの準備数につきましては、市が行う集団接種、企業が行う職域接種、個別医療機関が行う個別接種など複数の接種機会を集計すると必要なワクチン数が分かります。現時点では、その都度県に発注してワクチンを確保していますので、いつまでにどれだけのワクチンが用意されているかについては、把握しておりません。</p> <p>公表につきましては、今日の段階では、検討させていただきたいとしか申し上げられません。</p> <p>※資料を持ち合わせておらず、詳細な数字が不明であるため、一部の質問のみに回答。</p> <p>【追記】</p> <p>ワクチンの接種者数等は市ホームページで公表しております。（廃棄数は公表しておりません。）</p>	健康課

11/2 矢田地区 令和4年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧 [事前提出分の再質問・自由意見等]

整理番号	意見・質問等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
15	小学校部活動の廃止	<p>【質問】 小学校で部活動を完全に廃止するそうですが、今は無料でスポーツの機会を子どもたち全員に与えています。西尾市は剣道を中心に全て種目が強いですが、それが廃止されると、お金をかけられない子どもたちが活動できる場所が有料化となります。それについて、補助金などは考えていますか。</p>	<p>部活動については、小学校と中学校で状況が大分違ってきます。 小学校は、本市においても旧幡豆郡と西尾市とで部活動の取り組み方が違い、旧幡豆郡には部活動として通年行っているものはありませんが、西尾市はいくつかの部活動について小学校で行われてきました。 県内で小学校の部活動が残っているのは、本市と刈谷市と岡崎市だけだと思えます。前は豊橋市等もありましたが、働き方改革ということもあり、放課後に、先生たちが違う形で子どもたちの方を見てあげたほうが良いという意見もある中で、小学校の部活動についてはどちらかというところ縮減傾向、廃止傾向となっております。 子どもたちのスポーツの機会をどうしていくかということは、今後は学校教育から切り離されて検討されるため、毎日ではありませんがサタデープランやスポーツクラブになります。その場合は、ご家庭の費用負担があるため、その点に最も心を痛めています。 中学校の部活動も来年度から、土日については徐々に地域に移行するという国の方針があり、それについても大変苦慮しています。今後も、地域の方の力をお借りしながら、できる限り子どもたちのスポーツの機会を保障してまいりたいと考えております。</p>	学校教育課
16	区画整理後の農地	<p>【質問】 上矢田の西山地区の区画整理後についてですが、区画整理の結果、土に大きな石がたくさんあり農地にできないということで、宅地化が進んでいます。 私は、区画整理の途中で、やり方がおかしいと感じ、不動産屋の紹介で畑の土を入れることができたため作付けできますが、他の方たちは諦めて売るなどして、宅地化が進んでいます。面積が5畝以上ないと農地ができないと聞いています。 今後、宅地化が進むとその5畝が、今の区画の範囲では数年後にはどうなるのかと思えます。その区画の範囲をもっと広くしていただければ、5畝が可能になると思えます。区画整理の前に5畝あった方も半分以下になり、5畝以下になっていきますので、できるだけ農業を続けられるような方向にしていきたいと思えます。 今後、食糧危機の時代に突入していくと、日本は特に輸入に頼っていますので、多くのCO2を排出することになります。農地は酸素を排出し、CO2を吸収するため環境にもとてもいいので、是非よろしく願います。</p>	<p>実際に、宅地や工場の進出により農地が減少していますので、農業振興の面ではマイナスであるという認識はありますし、それに対して、どのような価値観及び考え方を優先させるかというのは様々です。 これからも西尾市が発展し、暮らしやすいまちにしていくためには、人口が増えるための宅地ゾーンを広げたり、工場に立地してもらうことが大事であります。ただ、そのために農業を全部切り捨てて、犠牲にしているとは思っておらず、特に優良農地のエリアなどについては農地の保全を図っていく必要があると考えます。一方で、一定の農地の保全に配慮をしつつ開発をしていくことが、市にとって重要でありますので、農地を守るために一切開発行為をやめるということは考えておりません。</p>	農水振興課

11/2 矢田地区 令和4年度「市長と語る市政懇談会」 意見・質問等一覧 [事前提出分の再質問・自由意見等]

整理番号	意見・質問等（題名）	（内容）	【回答】	担当課
17	一色町の産業廃棄物処分場	<p>【質問】 産業廃棄物処分場を一色に持ってくる件についてお尋ねします。西尾市だけの問題ではないと思いますが、今どういう状況になっているのか、簡単に結構ですので教えてください。</p>	<p>産廃問題については動きがございます。 これまで三重県の事業者が、約50ヘクタールの一色町生田地区の土地に産廃処分場の建設を計画していました。市としては一貫して反対の姿勢で、地元住民等で構成される市民団体と連携しながら活動してまいりました。現在、業者が、産廃処分場の建設をやめて残土置場にしたいと言っていますが、市としては、産廃処分場を作らないという正式な撤回表明をするよう、相手側に伝えています。 まだ正式な撤回表明はされていませんが、仮に表明された場合、残土ならいいのかという問題に移ります。残土にはいろいろな種類があり、ヒ素などの有毒物質が土に含まれることがあるため、こういった残土が、どれだけの量であればいいのかという話になっていきます。 動きが出つつありますが、正式に産廃処分場の撤回表明がされたわけではありません。今、住民団体が、市内の町内会などに反対の署名のご協力をお願いしていると思いますが、もし矢田地区でもそういったことがございましたら、産廃処分場を作らない流れだから別に署名しなくてもいいということではなく、引き続きご協力をお願いいたします。</p>	環境保全課